

第8次新潟県地域保健医療計画 「がん」ロジックモデル

| | |
|----|---------------|
| 番号 | D 個別施策 |
|----|---------------|

| | |
|----|------------------|
| 番号 | C 初期アウトカム |
|----|------------------|

【予防・検診・教育】

| | 個別施策 | |
|---|---------------|--|
| 1 | たばこ対策 | 受動喫煙防止対策、未成年の喫煙防止、喫煙者への啓発、たばこをやめたい人への禁煙支援 |
| 2 | 適切な普及・定着の生活習慣 | 食塩の適正な摂取など望ましい食生活の普及啓発、よく噛んで食べる等の歯科保健指導、運動習慣の定着、飲酒の健康リスクに関する普及啓発 |
| 3 | その他のがん対策 | 日常の健康管理としてのプレスト・アウェアネスの普及、ヒトパピローマウイルス(HPV)と子宮頸がんとの関係、HPVワクチン接種の有効性及び安全性、ヘリコバクター・ピロリの感染が胃がんのリスクであること等正しい知識の普及啓発 |

| | 初期アウトカム | 指標 |
|---|---|--|
| 1 | がんを予防するための生活習慣等を県民が理解し、行動できている | 成人喫煙率 20代の喫煙率 受動喫煙の機会を有する者の割合 野菜摂取量 果物摂取量 食塩摂取量 肥満者の割合 1日の平均歩数 運動習慣者の割合 ハイリスク飲酒者の割合 |
| 2 | 日常的な健康管理としてのプレスト・アウェアネスに関する普及啓発が実施されている | プレスト・アウェアネスの普及啓発を実施する市町村数 |
| 3 | 子宮頸がんとHPV感染との関連について若年者及びその保護者への普及啓発が実施されている | HPVワクチンの実施率 |

| | | |
|---|------------|---|
| 4 | がん検診率向上の | がん検診に関する普及啓発、職域と連携した受診勧奨、個別受診勧奨・再勧奨 |
| 5 | がん検診の精度管理の | 精密検査機器の整備、生活習慣病検診等管理指導協議会の開催、職域におけるがん検診データの把握 |

| | | |
|---|--|--|
| 4 | がんを早期に発見し、早期に治療が受けられるよう、科学的根拠に基づくがん検診の受診が促進されている | がん検診受診率 科学的根拠に基づくがん検診を実施している市町村数 |
| 5 | 要精密検査の対象者を確実に医療機関受診につなげられている | 要精検者の精検受診率 要精検率 がん発見率 陽性反応適中度 |

| | | |
|---|------|---|
| 6 | がん登録 | がんの罹患状況を把握するためのがん登録の推進、得られた結果を活用した広報及び情報提供の充実 |
|---|------|---|

| | | |
|---|----------------------------|---------------------------|
| 6 | がん登録が普及・充実し、登録精度の向上が図られている | 院内がん登録を実施している医療機関 DCO率 |
|---|----------------------------|---------------------------|

| | | |
|---|------|--|
| 7 | がん教育 | がん教育における外部講師活用に向けた体制の整備 企業や医療保険者との連携による職域での普及啓発 |
|---|------|--|

| | | |
|---|---|--|
| 7 | 学校におけるがん教育の推進、企業等と連携した普及啓発等による社会教育の推進により、社会全体のがんに対する理解が深まっている | 外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合 にいがた健康経営推進企業登録数 |
|---|---|--|

番号 **B 中間アウトカム**

番号 **A 最終アウトカム**

| | 中間アウトカム | 指標 |
|---|--------------------------------------|---------|
| 1 | がんを予防するための生活習慣等の実践により、がんに罹る県民が減少している | 年齢調整罹患率 |

| | 最終アウトカム | 指標 |
|---|--|--------------|
| 1 | がん予防のための施策及びがんの早期発見を通じ、がんにより死亡する県民を減少させる | 75歳未満年齢調整死亡率 |

| | | |
|---|---|--------|
| 2 | がん検診をより多くの住民に実施することにより、早期がんの診断割合が増加している | 早期がん割合 |
|---|---|--------|

(再掲)

| | | |
|---|---|---------|
| 1 | がんを予防するための生活習慣等の実践により、がんに罹る県民が減少している | 年齢調整罹患率 |
| 2 | がん検診をより多くの住民に実施することにより、早期がんの診断割合が増加している | 早期がん割合 |

第8次新潟県地域保健医療計画 「がん」ロジックモデル

| | |
|----|--------|
| 番号 | D 個別施策 |
|----|--------|

| | |
|----|-----------|
| 番号 | C 初期アウトカム |
|----|-----------|

【治療】

| | 個別施策 | |
|---|-----------------|---|
| 8 | がんに対する医療提供体制の整備 | がん診療連携拠点病院等を中心とした医療提供体制の整備及びがんに関する専門の医療従事者の配置 |
| | | 手術療法・放射線療法・薬物療法等を行う体制の整備 |
| | | がんゲノム医療が受けられる体制の整備 |

| | 初期アウトカム | 指標 |
|---|-----------------------------------|--|
| 8 | がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療の均てん化と集約化を図る | がん診療連携拠点病院等が整備されていない空白圏域の数 |
| | | がん診療連携拠点病院等の数 |
| 8 | | がん診療連携拠点病院に準じる病院の数 |
| | | がん治療認定医数 がん専門看護師数 がん専門薬剤師数 病院における悪性腫瘍手術の実施件数 放射線療法(体外照射、組織内照射)の実施件数 病院における外来化学療法の実施件数 |

| | | |
|---|----------|-------------------------------------|
| 9 | チーム医療の推進 | 手術療法、放射線療法、薬物療法の各種医療チームの設置等の体制整備の促進 |
| | | がん診療連携拠点病院等と歯科医療機関の連携による口腔管理の取組の促進 |

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 9 | がん診療連携拠点病院等における多職種でのチーム医療を実施する体制の構築 | がん治療認定医数(再掲) がん専門看護師数(再掲) がん専門薬剤師数(再掲) がん診療連携拠点病院等においてカンファレンス等を実施している病院の割合 |
| | | 院内又は地域の歯科医師と連携してがん患者の口腔管理を行うがん診療連携拠点病院等の数 |

| | | |
|----|-----------|---------------------------------------|
| 10 | 緩和ケア体制の整備 | 緩和ケアに関する知識や技能を有する医療従事者を育成するための研修受講の促進 |
| | | 外来や入院における緩和ケアの実施の促進 |

| | | |
|----|-------------------------|--|
| 10 | がんと診断された時からの緩和ケア提供体制の構築 | 緩和ケア研修会修了者数 緩和ケア研修会指導者数 緩和ケア研修会を実施している病院数 |
| | | 入院緩和ケアの実施件数 外来緩和ケアの実施件数 緩和ケア病棟を有する病院数・病床数 緩和ケアチームのある病院数 |

| | | |
|----|---------------------------------|-------------------|
| 11 | 小児・AYA世代に 対する がん医療 の整備 | 小児がん医療・支援の環境整備の促進 |
| | | 妊孕性温存療法に係る体制整備 |

| | | |
|----|---------------------------------------|---|
| 11 | 小児・AYA世代の患者とその家族が安心して医療や支援を受けられる体制の整備 | |
| | | 妊孕性温存療法助成事業における実績数 がん・生殖医療ネットワークにおける妊孕性温存療法実施施設数 |

| | |
|----|------------------|
| 番号 | B 中間アウトカム |
|----|------------------|

| | |
|----|------------------|
| 番号 | A 最終アウトカム |
|----|------------------|

| | 中間アウトカム | 指標 |
|---|------------------------------|--------------------------------|
| 3 | がんと診断された患者が、適切な医療を受けられる状態にある | がん診療連携拠点病院等が整備されていない空白圏域の数(再掲) |

| | 最終アウトカム | 指標 |
|---|----------------------------|-----------------------------|
| 2 | がんの医療を通じ、がんにより死亡する県民を減少させる | 75歳未満年齢調整死亡率(再掲) 5年相対生存率 |



第8次新潟県地域保健医療計画 「がん」ロジックモデル

| | | | |
|----|---------------|----|------------------|
| 番号 | D 個別施策 | 番号 | C 初期アウトカム |
|----|---------------|----|------------------|

【療養支援】

| 個別施策 | | 初期アウトカム | 指標 |
|------|------------------|--|--|
| 12 | 相談支援体制の整備 | がん診療連携拠点病院等を中心とした相談支援体制の整備、情報収集・発信を含めた患者や患者家族等への支援 | がん相談支援センターにおける相談件数 |
| | | | 相談員研修を受講した相談員の人数 |
| | がん患者の就労に関する支援の整備 | | 就労に関する相談件数 長期療養者就職支援事業を活用した就職者数 |
| 13 | 在宅医療の整備 | がんの治療後における、多職種連携による支援可能な体制の構築や在宅医療を提供する医療機関の整備 | 在宅がん総合診療料の算定件数 末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数 |
| 14 | 高齢者の支援がん | 高齢のがん患者がそれぞれの状況に応じた適切ながん医療を受けられるように支援が受けられる | 地域連携クリティカルパスに基づく診療計画策定等実施件数 地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数 訪問看護利用者数 |

| | |
|----|------------------|
| 番号 | B 中間アウトカム |
|----|------------------|

| | |
|----|------------------|
| 番号 | A 最終アウトカム |
|----|------------------|

| | 中間アウトカム | 指標 |
|---|---------------------------------------|---|
| 4 | がん患者とその家族が在宅等での療養場所を選択でき、継続して支援を受けている | 在宅がん総合診療科の算定件数(再掲) 末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数(再掲) |

| | 最終アウトカム | 指標 |
|---|-------------------------------|----|
| 3 | 全てのがん患者及びその家族の療養生活の質を維持・向上させる | / |



第8次新潟県保健医療計画（がん）ロジックモデル（概要版）

個別施策

初期アウトカム

中間アウトカム

最終アウトカム

【予防・検診・教育】

- ・受動喫煙防止、禁煙指導など
- ・食生活、運動習慣の見直し
- ・日常の健康管理の普及啓発



がんを予防するための生活習慣等を県民が理解し、行動できている

日常的な健康管理としてのプレスト・アウェアネスに関する普及啓発が実施されている

子宮頸がんとHPV感染との関連について若年者及びその保護者への普及啓発が実施されている

がんを予防するための生活習慣等の実践により、がんに罹る県民が減少している

がん予防のための施策及びがんの早期発見を通じ、がんにより死亡する県民を減少させる。

- ・がん検診の普及啓発



がんを早期に発見し、早期に治療が受けられるよう、科学的根拠に基づくがん検診の受診が促進されている

- ・がん検診データの把握

要精密検査の対象者を確実に医療機関受診につなげられている

がん検診をより多くの住民に実施することにより、早期がんの診断割合が増加している

- ・がん登録の推進



がん登録が普及・充実し、登録制度の向上が図られている。

- ・がん教育の体制整備



学校におけるがん教育の推進、企業等と連携した普及啓発等による社会教育の推進により、社会全体のがんに対する理解が深まっている

- ・職域での普及啓発

【治療】

- ・がん診療連携拠点病院等を中心とした医療提供体制整備



がん診療連携拠点病院等を中心としたがん医療の均てん化と集約化を図る

- ・手術・放射線療法の体制整備

- ・がんゲノム医療の体制整備

がん診療連携拠点病院等における多職種でのチーム医療を実施する体制の構築

- ・チーム医療体制整備

- ・歯科医療機関と連携した口腔管理

がんと診断された時からの緩和ケア提供体制の構築

- ・緩和ケア研修の受講促進

- ・小児がん医療・支援の環境整備

小児・AYA世代の患者とその家族が安心して医療や支援を受けられる体制の整備

- ・小児・AYA世代に対する妊孕性温存療法に係る体制整備

がんと診断された患者が、適切な医療を受けられる状態にある

がんの医療を通じ、がんにより死亡する県民を減少させる

【療養支援】

- ・がん相談員への研修



がん診療連携拠点病院等を中心とした相談支援体制の整備、情報収集・発信を含めた患者や患者家族等への支援

- ・がん患者の就労支援

- ・在宅医療の体制整備

がんの治療後における、多職種の連携による支援可能な体制の構築や在宅医療を提供する医療機関の整備

- ・介護事業所との連携

高齢のがん患者がそれぞれの状況に応じた適切ながん医療を受けられるように支援が受けられる

がん患者とその家族が在宅等での療養場所を選択でき、継続して支援を受けている

全てのがん患者及びその家族の療養生活の質を維持・向上させる